秀英体

DNPオリジナル書体

1

秀英体は、大日本印刷の前身である秀英舎の時代から、１００年以上にわたって開発を続けている書体です。＊近代化が急速に進展した明治初期、秀英舎は印刷を「文明の営業」と表現して活版印刷に力を注ぎ、やがて自社で活字の開発に取り組み始めました。明治45年（１９１２）には、活字サイズで初号から八号までの明朝体が揃い、秀英体は東京築地活版製造所の築地体とならぶ「和文活字の二大潮流」と評され、当時から現代のフォントデザインにまで大きな影響を与えています。＊活字書体として誕生した秀英体は、活字の大きさや時代のニーズに合わせた豊富なバリエーションが特徴です。気骨ある迫力の初号、流麗で繊細な三号、そして現在の秀英明朝の原型となった明るく落ち着いた四号……。根底に共通するいきいきとした筆づかいは、言葉に雄弁な表情を与え、あざやかに彩ります。＊文字をめぐる技術とメディアの環境は活版印刷からＤＴＰ、そして電子書籍へと大きく変化しました。しかし、いかに環境が変わろうとも、文字はコミュニケーションの基盤であり、美しく読みやすい書体が果たす重要性に変わりはありません。＊さらに変化していく未来を見据えて、秀英体はこれからも進化し続けていきます。常に新しく生まれ変わり、最前線で使われ続ける書体――秀英体１００年の伝統とは、革新の姿勢そのものです。

DNP

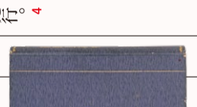
秀英体の一世紀

技術と開発の変遷

秀英体の歩んできた一世紀は、日本の近代印刷の歴史といえます。秀英体は活版印刷用の書体として誕生しました。現在では印刷のみならず、ディスプレイ表示や電子書籍にいたるまで利用シーンが広がっています。どんなに技術は変わっても、常に使われ続けている書体、それが秀英体です。

2

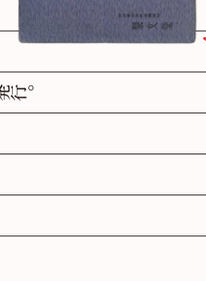
3



4

5

明治		
1876（明治9）	現在の銀座・数寄屋橋交差点付近で、秀英舎が創業。1	
	スマイルズ『改正西国立志編』洋装本印刷。2	
1881（明治14）	活字の鋳造設備導入。	
	自社で活字を作り始める。3	
1889（明治22）	「五号活字見本」発行。	
	自社で書体の開発を本格化。	
1903（明治36）	総合見本帳	
	「活版見本帖 Type Specimens」発行。	
1910（明治43）	総合見本帳	
	「活版見本帖 Type Specimens」発行。4	
1912（明治45）	全活字の整備終了、	
	初号から八号までの秀英体完成。	
大正		
1914（大正3）	総合見本帳	
	「活版見本帖 Type Specimens」発行。	
1915（大正4）	ポイント活字の母型が完成。	電鋳法による母型鋳造
1923（大正12）	関東大震災の被害を受け、	
	秀英舎本店を市谷に移転。5	
昭和		
1935（昭和10）	秀英舎と日清印刷が合併し	
	大日本印刷と改称。	
1948（昭和23）	ベントン式母型彫刻機を導入。	彫刻法による母型鋳造
	母型製造の機械化。6	
1951（昭和26）	彫刻機による新型母型	
	「A1明朝」が実用開始。	
1955（昭和30）	金属活字のサイズを	
	ポイント制に統一し、号数制を廃止。	
1968（昭和43）	A1明朝原字を細型化する改刻作業開始。	
1976（昭和51）	コンピュータ組版用に	デジタルフォント
	秀英体のデジタル化開始。7	
1981（昭和56）	写研より写植用文字盤	
	「秀英明朝SHM」発売。	
1987（昭和62）	モリサワより写植用文字盤「秀英3号かな」発売。	
平成		
1992（平成4）	秀英体拡充計画開始（字種拡張・ファミリー化）。	
1995（平成7）	電子書籍向けに秀英体のライセンス提供開始。	
2003（平成15）	市谷工場の金属活版印刷を終了。	
2005（平成17）	秀英体リニューアルプロジェクト	
	「平成の大改刻」開始。（10書体のべ12万字を開発）8	
2008（平成20）	目に優しく読みやすい明朝体フォント	
	「秀英横太明朝」を開発。	
2009（平成21）	DTP向けに秀英体の一般販売を開始。	
2011（平成23）	WEBフォント向けに	
	秀英体のライセンス提供開始。	
2015（平成27）	かな書体の復刻とウェイト拡充（5書体を開発）。	
2016（平成28）	活版印刷の風合いを再現した	
	「にじみフォント」を開発。	


6

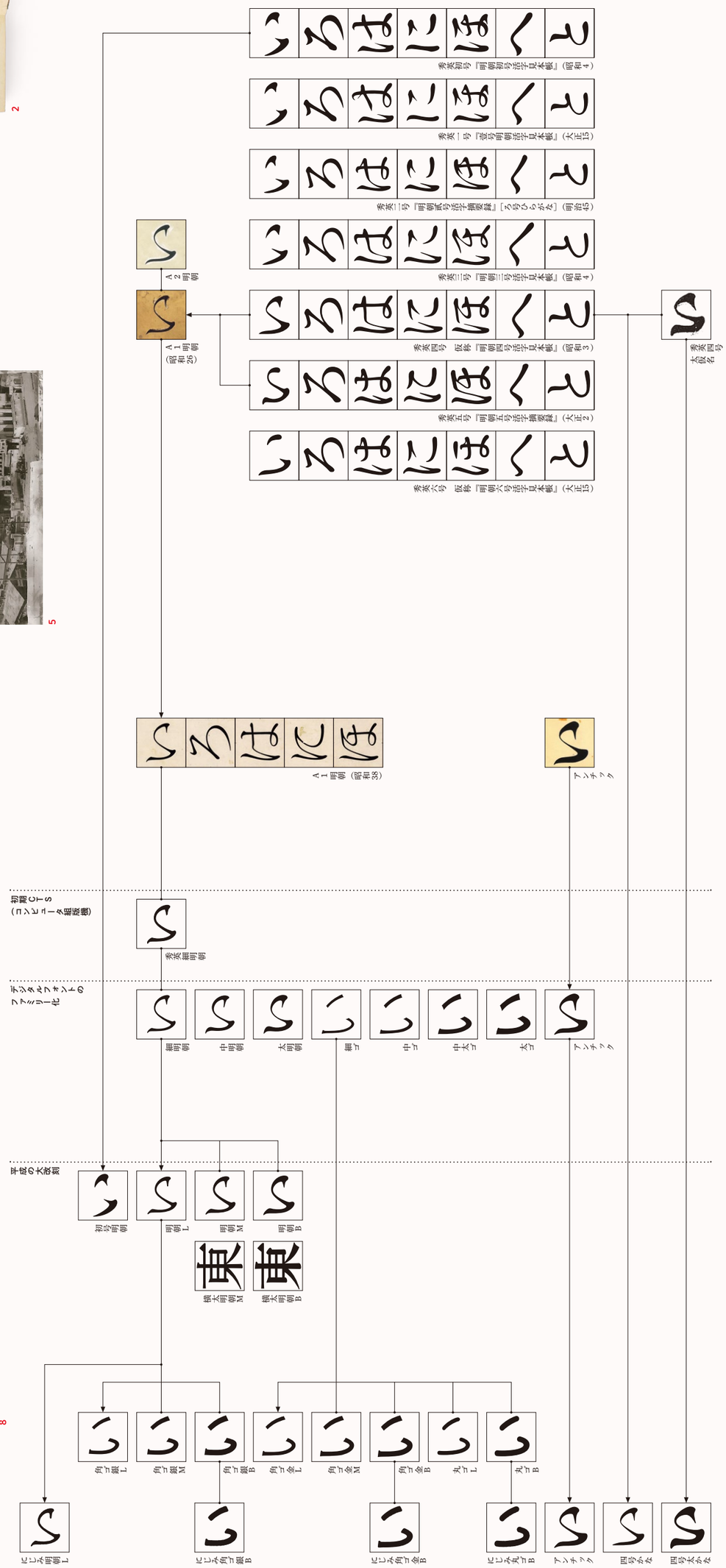
7

8

秀英体のかたち

書体体系図 秀英体の変遷

ひとくちに秀英体といっても、幅広いバリエーションがあります。それぞれの活字サイズに最適なデザインがあり、それが100年間の印刷技術の変化に合わせて、少しずつ手を加えられ、姿を変えてきました。さまざまな秀英体のデザインとその変遷をご覧ください。



秀英明朝 L

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用しているカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英明朝 M

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英明朝 B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英初号明朝

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英四号かな

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英四号太かな

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英横太明朝 M

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英横太明朝 B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英アンチック

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使用している太陽暦は、人類がこれまでに得た最高の暦である。しかし、季節の到来を正確にしめす太陽暦を、古代の人々は簡単に得ることはできなかった。最初は、夜空に

秀英角ゴシック金M

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使

秀英角ゴシック金L

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使

秀英角ゴシック金B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使

秀英丸ゴシックL

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使

秀英丸ゴシックB

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使

秀英にじみ角ゴシック金B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味

秀英にじみ角ゴシック銀L

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味だった。これが英語のカレンダーの語源となった。今日私たちが使

秀英にじみ角ゴシック銀B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という意味

秀英にじみ明朝 L

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という

秀英にじみ角ゴシック金B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という

秀英にじみ角ゴシックB

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という

秀英にじみ角ゴシック銀B

ローマでは一日（朔日）をcalendaeといった。これは「月を呼んだ日」という

秀英明朝は、豊富なファミリーを持つ秀英体の中でも、主軸となる書体です。長年にわたり、本文用の明朝体として書籍や雑誌のテキストを伝え続けてきました。「い」「こ」など、ひと筆書きが印象的なこの書体は、しっかりとした性類感と読者に与えます。横画の太さは他の明朝体に比べて太めに設定されていますため、細い線のかちつきが少なく、目に優しい黒みを保ちます。

1896（明治29）年
「活版見本帖　未完」より
四号活字

1914（大正3）年
「活版見本帖」より
四号活字

1951（昭和26）年
彫刻母型原字
本文用明朝

1949（昭和24）年
彫刻母型原字
本文用明朝

1973（昭和48）年
CTS 搭載
秀英細明朝

2009（平成21）年
平成の大改刻
秀英明朝L

秀英四号太かな

綾

1929（昭和4）年
「明朝初号活字
見本帳」より
初号活字

秀英四号かな

綾

2010（平成22）年
平成の大改刻
秀英初号明朝

秀英四号かなは、現在の秀英明朝の起源となる書体です。秀英体らしい端正さ、古典的で上品なデザインを持ち、本文組の適性だけでなく、タイトルや見出しでも映えるオーラウンドプレイヤーとも言えます。大きな文字サイズで使用しても柔らかいカーブが再現され、秀英明朝よりも古風な印象を与えることができます。

秀英四号太かなは、秀英四号かなよりも太い別の骨格を持ち、見出し向け児童書の本文組に用られていました。他のラインアップとは違う、ゆったりした表情と縦書きでの筆脈を随所に感じさせる個性的な平仮名、それに負けない力強さを持った片仮名が特徴です。見出しなど大きいサイズでインパクトのある表現に最適です。

秀英横太明朝

秀英明朝

縦画の太さ

東東東

B　M　L

横画の太さ

秀英明朝は、現在の秀英明朝の起源となる書体です。秀英体らしい端正さ、古典的で上品なデザインを持ち、本文組の適性だけでなく、タイトルや見出しでも映えるオーラウンドプレイヤーとも言えます。大きな文字サイズで使用しても柔らかいカーブが再現され、秀英明朝よりも古風な印象を与えることができます。

秀英四号太かなは、秀英四号かなよりも太い別の骨格を持ち、見出し向け児童書の本文組に用られていました。他のラインアップとは違う、ゆったりした表情と縦書きでの筆脈を随所に感じさせる個性的な平仮名、それに負けない力強さを持った片仮名が特徴です。見出しなど大きいサイズでインパクトのある表現に最適です。

秀英明朝は、豊富なファミリーを持つ秀英体の中でも、主軸となる書体です。長年にわたり、本文用の明朝体として書籍や雑誌のテキストを伝え続けてきました。「い」「こ」など、ひと筆書きが印象的なこの書体は、しっかりとした性類感と読者に与えます。横画の太さは他の明朝体に比べて太めに設定されていますため、細い線のかちつきが少なく、目に優しい黒みを保ちます。

1896（明治29）年
「活版見本帖　未完」より
四号活字

1914（大正3）年
「活版見本帖」より
四号活字

1951（昭和26）年
彫刻母型原字
本文用明朝

1949（昭和24）年
彫刻母型原字
本文用明朝

1973（昭和48）年
CTS 搭載
秀英細明朝

2009（平成21）年
平成の大改刻
秀英明朝L

秀英四号太かな

綾

1929（昭和4）年
「明朝初号活字
見本帳」より
初号活字

秀英四号かな

綾

2010（平成22）年
平成の大改刻
秀英初号明朝

秀英体ラインナップ

＊全書体、Adobe-Japan1-7に対応しています。

Adobe-Japan1-6（23,058文字）

秀英明朝L
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英明朝M
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英明朝B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

Adobe-Japan1-3（9,354文字）

秀英初号明朝
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英四号かな
＊漢字は秀英明朝M
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英四号太かな
＊漢字は秀英初号明朝
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英横太明朝M
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英横太明朝B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英アンチック
＊漢字は秀英角ゴシック金B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英角ゴシック金L
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英角ゴシック金M
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英角ゴシック金B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英角ゴシック銀L
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英角ゴシック銀M
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英角ゴシック銀B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英丸ゴシックL
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英丸ゴシックB
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ明朝L
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ丸ゴシックB
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ角ゴシック金B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ角ゴシック銀B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ初号明朝
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ四号かな
＊漢字は秀英にじみ明朝L
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみ四号太かな
＊漢字は秀英にじみ初号明朝
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英にじみアンチック
＊漢字は秀英にじみ角ゴシック金B
明いそぐ夜の美しき竹の月アイウエオABCDefgh 0123

秀英体を使うには

●パッケージフォント： PC にフォントをインストールして利用いただけます。
●Web フォント： インターネットを介してフォントを配信するサービスです。

●●モリサワのフォントサブスクリプションサービス
「Morisawa Fonts」で提供しています。

Morisawa Fonts

●モリサワのフォント製品
「Select Pack」で販売しています。

Select Pack

●●アドビのフォントライブラリサービス
「Adobe Fonts」で提供しています。

Adobe Fonts

●Monotypeの年間定額制フォントサービス
「フォントワークス LETS」で提供しています。

FONTWORKS LETS

●●Monotypeのフォント販売サイト
「MyFonts」で提供しています。

Monotype

●MonotypeのWebフォントサービス
「FONTPLUS」で提供しています。

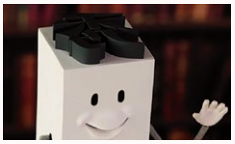
FONTPLUS

●リアルタイプの Web フォントサービス
「REALTYPE」で提供しています。

REALTYPE

＊その他
電子機器やアプリケーションへの組込みなど、
上記製品・サービスの利用範囲外での利用は
下記までお問い合せください。

株式会社DNPアートコミュニケーションズ
〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町1-1-1
https://shueitai.dnp.co.jp/



秀英体アーカイブ映像 公開中
・人に想いを届けるフォント。大日本印刷の秀英体
・その手が文字をつくるまで ～活版印刷の職人たち～

秀英体 検索

LINEスタンプショップで
秀英体 検索

• いかなる形式でも本紙の一部または全部の複製および無断転載をお断り致します。
• 内容は2026年10月現在のものです。お断りなしに変更することがあります。
• 本カタログに記載されている会社名・商品名・サービス名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
• このパンフレットは秀英体を使っています。（表紙本文： 秀英にじみ初号明朝 撰）

2026.10